

第4回

杏の会コンサート

～音楽を愛する仲間とともに～

第一部 ◆ 若い芽のコンサート ～ 声楽を学ぶ学生の競演

第二部 ◆ 音楽を楽しむ仲間

第三部 ◆ ワグナー生誕200年

男声合唱による **タンホイザー**



リヒャルト ワグナー

- 1 騎士と貴族の合唱
- 2 巡礼の合唱
- 3 (間奏曲)
- 4 夕星の歌
- 5 フィナーレ

指揮 角田 鋼亮
ピアノ 河合 毅彦

第四部 ◆ 愛唱歌 ～ 柳河 秋のピエロ ほか

2013年 8月24日(土) 16:00開演 [15:30開場]

会場 / 三井住友海上 しらかわホール 入場料(全自由席) / 2,000円

主催: 東海高校男声合唱団OB「杏の会」

後援: 東海中学校・高等学校同窓会

タンホイザーについて

なぜ、ワーグナーで、なぜ、《タンホイザー》か それが、杏の会的である理由

今年はワーグナー生誕二百年の記念の年なので、杏の会もワーグナーを歌います。でも、今年はヴェルディの生誕二百年でもあります。なぜ、杏の会は、ヴェルディではなくワーグナーを歌うかといえば、アポロ的な南半球人ヴェルディと違い、ワーグナーはディオニソス的な北半球人であり、酒と歌を愛する杏の会的であるからです。そして、なぜ《タンホイザー》かといえば、それが極めて愛欲的で訓戒的な杏の会好みの音楽であるからです。とはいえ、ワーグナーの《タンホイザー》はヴェルディの《椿姫》であり、《タンホイザー》の「巡礼の合唱」は《ナブッコ》の「行けわが想いよ、黄金の翼に乗って」であるのです。北半球と南半球、双方あつての地球であるように、ワーグナーとヴェルディ、二人あつてのオペラです。ワーグナーとヴェルディのオペラを聴くとき、このような「とりかえや物語」による地球一体化があることを忘れてはいけません。

教皇の枯れた杖が、恩寵によって芽吹く奇跡を信じる者は幸せである。私たちが、当日、ご来場いただくみなさまのご恩寵によってうまれるであろう、杏の会演奏会の音楽による地球一体化の奇跡を信じる由縁であります。お待ちしております。

杏の会会長 都築 正道（音楽評論家・中部大学名誉教授）



角田 鋼亮（つのだこうすけ）

公式ウェブサイト
<http://kosuketsunoda.com/>

2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、第4回カラヤン生誕100周年記念の同コンクールでも2位入賞を果たした。2010年、第3回マーラー指揮コンクールでは最終の6人に残った。東海高校卒業。東京藝術大学音楽学部指揮科、同大学院、並びにベルリン音楽大学「ハンス・アイスラー」指揮科ディプロム課程、国家演奏家資格課程を修了。指揮法を松尾葉子、佐藤功太郎、クリスティアン・エーウ?アルト、ピアノを佐藤俊、スザンネ・グリュツマン、コレベティウアをアレキサンダー・ヴィトリン各氏に師事。2000、01、02年度野村学芸財団の奨学生となる。02年には安宅賞を受賞。

これまで共演したオーケストラはコンツェルトハウスオーケストラ・ベルリン、ブランデンブルク交響楽団、ドレスデン州立劇場オーケストラ、上海歌劇院管弦楽団、東京都交響楽団、大阪交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、群馬交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、瀬戸フィルハーモニー交響楽団など。

オペラ、バレエ、ミュージカルの分野でも活躍。新国立劇場、二期会、東京室内歌劇場では公演により副指揮者、合唱指揮者を務める。テレビ・ドラマ「新春スペシャル・のだめカンタービレ」においては指揮指導を、映画「のだめカンタービレ・最終楽章」では、それに加え千秋真一役のピアノ演奏手元吹き替えを務めた。

第4回 杏の会コンサート

2013年 8月24日(土) 16:00開演 [15:30開場]

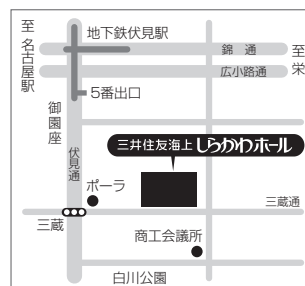
会場／三井住友海上 しらかわホール

入場料(全自由席)／2,000円

チケットのお申し込み・お問い合わせ

- 杏の会事務局 杏の会 <http://www.anzunokai.net/>
- しらかわホールチケットセンター ☎ 052-222-7117

三井住友海上 しらかわホール ご案内図



地下鉄伏見駅5番出口 徒歩3分